

くらしの道具

人々のくらしは、いつの時代も様々な道具に囲まれてきました。それらの道具は、時代と生活スタイルの移り変わりに合わせて様々な変化を遂げてきましたが、特に明治以降の変化はめまぐるしいものでした。押し寄せる西洋化の波、戦争による荒廃、そして敗戦からの復興と、人々をとりまく環境は大きく変わり、それともなってくらしを支える道具も変化してきました。また、それまで一つずつ人の手で作られていた道具は、技術の発展にともなって大量生産されるようになり、工業製品へと変わっていきま

した。人が自ら手を動かし、力を加えることによって機能していた素朴な道具は、1960年代の高度経済成長やその後の技術革新によって、あるものは大きく姿を変え、またあるものは姿を消して

いきました。現在私たちの身の回りには、スイッチを押せば、あとは人の手を介することなくすべての機能を果たしてしまうものが増えてきています。「道具に任せる」という意識が強まり、「道具を使う」という感覚は薄れてきているのかもしれませんが、

今年度の「むかしのくらし展」では、高度経済成長以前のくらしを支えていた衣食住の基本となる道具を取り上げて、現在のくらしに関わる道具との違いをみていきます。そのなかで、現在も変わらずに存在している道具、大きく姿を変えた道具、そして役割を終えてほとんど目にすることがなくなった道具があることを紹介し、その背後にある生活スタイルの変化について概観します。



ひのし
火熨斗

はがま
羽釜

てつびん
鉄瓶

ガンドウ

あなか
行火

企画展開連たいけんプログラム

1. 【食】臼と杵でもちつきをしよう
日時: 10月6日(土)
11:00～13:00
参加費無料・申込は不要です。
2. 【衣】衣服のたたみ方を比べてみよう
日時: 11月10日(土)・11日(日)
14:00～15:30
参加費無料・申込は不要です。
3. 【住】むかしの道具に囲まれながら、昔話を聞こう
日時: 12月8日(土)・9日(日)
14:00～15:30
参加費無料・申込は不要です。

INFORMATION

- 開館時間: 午前9時30分～午後6時(9月30日まで)
午前9時30分～午後5時(10月2日から)
- 休館日: 9/18(火)・24(日)・25(火)
10/1(月)・9(火)・15(月)・22(月)・29(月)
11/5(月)・6(火)・12(月)・19(月)・26(月)・27(火)
12/3(月)・10(月)

- 交通案内 **観覧無料** (常設展の観覧は有料です)
- 新潟駅より:
新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で15分
「歴史博物館前」バス停下車すぐ
新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行きバスで25分
「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 車で:
新潟バイパス紫竹山ICより約15分
(無料駐車場あり)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



〒951-8013
新潟市中央区柳島町2-10
Tel:025-225-6111
Fax:025-225-6130
URL:http://www.nchm.jp
E-mail:museum@nchm.jp

